



令和2年9月30日

## がん生殖医療セミナー『乳がん女性への支援』 将来の妊娠は？ 予防的な乳房切除とは？

抗がん剤や放射線療法などのがん治療により、卵巣や子宮、精巣などの妊娠に必要な臓器がダメージを受け、機能が低下してしまう場合があります。しかし、生殖医療技術の進歩により、将来、子どもを持つための能力（妊孕性）を温存することが可能になっています。

がんの中でも、乳がんは女性において最も多いがんであり、サバイバー（生存者）も多くおられます。そのため、一般市民や乳がん女性、さらに、がん治療を行う医療スタッフに「妊孕性を温存する技術」があることを知っていただくことが必要です。また、がん治療を行う医療スタッフと不妊治療を行う医療スタッフが互いに連携し、妊孕性温存を望むがん患者の卵子や卵巣の凍結保存がスムーズにできる体制を整える必要があります。本セミナーでは、岡山大学病院リプロダクションセンターに所属する医師や看護師が乳がん女性の妊孕性温存についてお話しします。

また、今回は乳がん診療のトピックスである「遺伝性乳がん卵巣がん症候群（HBOC）」についても考えます。2013年、女優のアンジェリーナ・ジョリーさんが乳がん予防のために健康な両乳房を切除したことが話題となりました。そして日本でも、2020年4月から、遺伝性乳がん卵巣がん症候群（HBOC）の患者に対して、予防的乳房切除術・乳房再建術、予防的卵管卵巣摘出術が保険適応となりました。今回、臨床遺伝子診療科や乳腺外科の医師、また、専門看護師が、そのような治療を行うことになる女性やその家族にどのように話し、どのように寄り添っているのかについてお聞きします。

本セミナーは、テレビ会議システム『Zoom』を利用して開催します。パソコン、スマートフォン、タブレット等をお持ちでしたら、どなたでもご参加いただけます。ぜひお気軽にご参加ください。

- |         |  |
|---------|--|
| 1. 名称   | がん生殖医療セミナー『乳がん女性への支援』                            |
| 2. 日時   | 2020年10月16日（金） 18:30~20:20                       |
| 3. 対象者  | 一般、学生、医師、看護スタッフ、薬剤師、心理士、保健師、胚培養士など、どなたでも参加いただけます |
| 4. 申込方法 | 事前申し込み要。別添チラシ参照。（Zoom参加のURLをお送りします）。             |
| 5. 参加費用 | 無料   |

### <お問い合わせ先>

がんと生殖医療ネットワークOKAYAMA・岡山大学病院リプロダクションセンター  
 岡山大学大学院保健学研究科 中塚研究室  
 教授 中塚 幹也  
 （電話番号）086-235-6538（FAX兼）（メール） repro@okayama-u.ac.jp


 岡山大学  
 OKAYAMA UNIVERSITY
